

平成19年度

取扱注意

# 授業改善推進プラン【小学校】

- ①平成19年度北区立小学校学力向上を図るための全体計画
- ②平成19年度第2学年・第3学年・第4学年・第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」（北区教育委員会）結果の内容別・観点別の分析
- ③現第6学年平成18年度第5学年「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都教育委員会）結果の内容別・観点別の分析
- ④指導方法の課題分析と具体的な授業改善案4教科

東京都北区立滝野川第二小学校

| 本校における各教科の実態(現状と課題) |  |
|---------------------|--|
| 国語                  | 伝え合う力の育成を目指し、「話し方・聞き方名人」「ハンドサイン」等を基礎にして「話すこと・聞くこと」に取り組んでいる。この力を他教科・領域に発展させることが課題である。     |
| 算数                  | 少人数指導に取り組み、単元ごとに習熟度別クラスにしたり、均等分けクラスにしたりしている。一人ひとりが自分の考えを積極的に発表し合うことで、課題解決を図ることが課題である。    |
| 社会                  | 一人ひとりの興味関心を生かした学習課題を設定し、見学やインタビュー、図書やパソコンでの調べ学習を通して課題解決を図っている。調べた事実を基に自分の考えを深めることが課題である。 |
| 理科                  | 理科支援員とのTT体制(5,6年生)で個別指導を行い、実験や観察に取り組んでいる。グループや学級全体で話し合いながら、予想を立てたり結論を導き出したりすることが課題である。   |

| 本校の教育目標            |
|--------------------|
| たゆまず学び 工夫する子       |
| きまりを守り 協力する子       |
| にこやかに 心も体も<br>元気な子 |

| 本校が児童に育成したい力   |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心を生かしながら自己に適した課題を判断し、設定する力。</li> <li>・様々な学習方法の中から課題解決に効果的な方法を判断し、選択する力。</li> <li>・課題解決に向けて、意欲的・主体的に取り組む力。</li> <li>・互いの意見を積極的に伝え合うことによって、自分の考えを整理・深化させていく力。</li> <li>・主体的な課題学習を通して身につけた確かな学力。</li> </ul> |

| 学力向上に関わる経営方針  |
|---|
| 計画的な指導と指導法の工夫改善に取り組むと共に、個に応じた指導を充実させ、「よく分かる楽しい授業」を実践し、基礎的・基本的な学力の定着を図る。 |

| 校内における学力向上推進体制   |
|--|
| 学力向上に関する特別委員会(研究推進委員会、指導評価委員会、少人数指導委員会、図書館運営委員会、特別支援校内委員会)が、有機的に機能しながら全教員で授業改善に取り組み、児童の学力の向上を図る。 |

| 本校の授業改善に向けた視点  |   |   |   |  |
|--|---|---|---|--|
| 指導内容・指導方法の工夫   | 教育課程編制上の工夫  | 校内における研究や研修の工夫  | 評価活動の工夫   | 家庭や地域社会との連携の工夫   |
| 学習形態を工夫し、習熟度別授業や少人数授業、TT授業に積極的に取り組むと共に、小グループによる学習を推進し、個に応じた指導の充実を図る。 | 朝自習を実施し、読書をしたり読み聞かせをしたり、漢字や計算の反復練習をしたりする。また、放課後を活用した補習「もりもりタイム」を実施する。 | 国語科と他教科・他領域との関連を図ると共に、一人一公開授業の実践を通して「伝え合う力」の育成を図る。また、学習情報センターの機能を充実させる。 | 評価規準を活用した形成的評価を指導に生かし、指導と評価の一体化を図る。また、外部評価(保護者、学校評議員等)を積極的に活用し授業改善に生かす。 | 個人面談の充実を図って家庭との連携を強化し、家庭学習の定着と基本的な生活習慣の確立を図る。また、学校公開、学習ボランティアの活用を推進する。 |

平成19年度 第2学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会) 結果の内容別・観点別の分析

北区立滝野川第二小学校

| 国 語   |  |   |
|---|--|---|
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」は、都の平均を0.8ポイント上回っておりおおむね良好と言える。</li> <li>・「書くこと」は、都の平均を3.7ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「読むこと」は、都の平均を1.0ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「言語事項」は、都の平均を2.2ポイント下回っており、課題があるといえる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は、都の平均を2.3ポイント上回っており、良好である。</li> <li>・「話す・聞く能力」は、都の平均を0.8ポイント上回っており、おおむね良好と言える。</li> <li>・「書く能力」は、都の平均を3.7ポイント上回っていると言える。</li> <li>・「読む能力」は、都の平均を1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「言語事項」は、都の平均を2.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なことを落とさないように聞き取る能力に課題がある。</li> <li>・事からの順序を考えながら、内容を読みとる能力に課題がある。</li> <li>・第一学年の配当漢字を読み、書くことに課題がある。</li> <li>・自分の考えが明確になるように、簡単な組み立てを考え、作文する能力に課題がある。</li> </ul> |
| 算 数   |  |   |
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と計算」は、都の平均を1.2ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「量と測定」は、都の平均を4ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「図形」は、都の平均を1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は、都の平均を1.1ポイント上回っており、良好である。</li> <li>・「考え方」は、0.3ポイント上回っており、おおむね良好と言える。</li> <li>・「表現・処理」は、1.3ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「知識・理解」は、1ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・おおむね定着できているが、<math>(1けた) - (1けた) = (1けた)</math>の減法の計算に課題がある。</li> </ul>   |

平成19年度 第3学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会) 結果の内容別・観点別の分析

北区立滝野川第二小学校

| 国 語   |   |  |
|---|---|--|
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」は区の平均を0.3ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「書くこと」は区の平均を2.0ポイント上回っ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は区の平均を1.1ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「話す・聞く能力」は区の平均を0.3ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子などについて、想像を広げながら読んだり、時間的な順序、事柄の順序を考えながら、内容を読み取ったりする能力に課題がある。</li> <li>・「言語事項」については、おおむね良好ではある</li> </ul> |

|   |  |   |
|---|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>ており、良好であると言える。</li> <li>・「読むこと」は区の平均を1.9ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「言語事項」は区の平均を2.9ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul>                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「書く能力」は区の平均を2.0ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「読む能力」は区の平均を1.9ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「言語事項」は区の平均を2.9ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul>          | ものの、漢字を書く能力については、課題がある。   |
| 算 数   |  |   |
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と計算」は区の平均を1.1ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「量と測定」は区の平均を2.7ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「図形」は区の平均を3.3ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数学的な考え方」は区の平均を4.1ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「表現・処理」は区の平均を0.2ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「知識・理解」は区の平均を2.2ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・2けたの加法、減法について、特に繰り上がり2回の加法についてやや課題がある。</li> </ul> |

平成19年度 第4学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会) 結果の内容別・観点別の分析

北区立滝野川第二小学校

|   |  |  |
|---|--|--|
| 国 語   |  |  |
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」は都の平均を0.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「書くこと」は都の平均を2.1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「読むこと」は都の平均を2.2ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「言語事項」は都の平均をおおむね0.6ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を0.5ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「話す・聞く能力」は都の平均を0.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「書く能力」は都の平均を2.1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「読む能力」は都の平均を2.2ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「言語事項」は都の平均を0.3ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じて適切に書こうとする意欲に課題がある。</li> <li>・互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合う能力に課題がある。</li> <li>・考えが明確になるように、段落相互の関係を考えて書くことに課題がある。</li> </ul> |
| 社 会   |  |  |
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な地域や市の調査」は都の平均を5.2ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を5.1ポイント上回っており、大変良好であると言える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図を読みとり、身近な地域の調査に生かす技能に課題がある。</li> </ul>   |

|  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域の人々の生産や販売」は都の平均を4.9ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「災害や事故から人々の安全を守る」は都の平均を2.1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「社会的な思考・判断」は都の平均を4.1ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「技能・表現」は都の平均を4.5ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「知識・理解」は都の平均を4.6ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・火災発生時における関係諸機関の相互の連絡体制や、各機関の働きについて思考・判断することに課題がある。</li> </ul> |
|--|--|---|

算 数

| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と計算」は都の平均を0.8ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「量と測定」は都の平均を2.8ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「図形」は都の平均を0.5ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「数量関係」は都の平均を4.9ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を0.6ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「数学的な考え方」は都の平均を0.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「表現・処理」は都の平均を2.3ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「知識・理解」は都の平均を1.0ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・繰り上がり3回の乗法の筆算、加法と減法を含む式の計算処理に課題がある。</li> <li>・加法と減法を含む文章題やある時刻から一定時間を経過した時刻を求める表現・処理に課題がある。</li> <li>・立体を構成するのに必要な辺や頂点の数を求めるための数学的な考え方に課題がある。</li> <li>・かさの単位を理解し、身近にある容器の容量を推察して適切な単位を使ったり、かさの単位を理解したりすることに課題がある。</li> </ul> |

理 科

| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
|---|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生物とその環境」は都の平均を3.7ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「物質とエネルギー」は都の平均を2.8ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「地球と宇宙」は都の平均を0.7ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を1.6ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「科学的な思考」は都の平均を0.1ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「観察・実験の技能・表現」は都の平均を1.9ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「知識・理解」は都の平均を3.4ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昆虫の特徴を進んでとらえようとしたり、適切な方法で太陽の観察をしようとしたりする意欲に課題がある。</li> <li>・昆虫のからだのつくり、日なたと日かげの温度の測定、太陽の動きの観察・実験技能に課題がある。</li> <li>・植物の育ち方、太陽の動き、磁石の働きについての知識・理解に課題がある。</li> </ul> |

平成19年度 第5学年「北区基礎・基本の定着度調査」(北区教育委員会) 結果の内容別・観点別の分析

北区立滝野川第二小学校

| 国 語      |          |             |
|----------|----------|-------------|
| 内容別結果の分析 | 観点別結果の分析 | 内容・観点のクロス分析 |
|          |          |             |

|  |  |   |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」は区の平均を0.6ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「書くこと」は区の平均を3.3ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「よむこと」は区の平均を1.9ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「言語事項」は区の平均を9.9ポイント下回っており、特に課題があると言える。</li> </ul>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は区の平均を1.4ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「話す・聞く能力」は区の平均を0.6ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「書く能力」は区の平均を3.3ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「読む能力」は区の平均を1.9ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「言語事項」は区の平均を9.8ポイント下回っており、特に課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉や文章に関心を持ち、進んで調べたり、表現したり、読書を通して考えを深めたりしようとする意欲に課題がある。</li> <li>・話し手の意図を考えながら正しく聞いたり、自分の考えをわかりやすく話す能力に課題がある。</li> <li>・表現したいことを筋道を立てて文章に表す能力に課題がある。</li> <li>・言語の基礎について理解し、漢字、及びローマ字を正しく読み書きする能力に大きな課題がある。</li> </ul>       |
| 社 会  |  |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「安全な暮らし」は区の平均を0.9ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「健康な暮らし」は区の平均を1.9ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「地域の人々の生活」は区の平均を0.1ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「県の様子」は区の平均を1.7ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は0.8ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「社会的な思考判断」は0.7ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「技能・表現」は1.0ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「知識・理解」は1.3ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のできごとや人々の暮らしに関心を持ったり、ごみ処理の方法や問題点を調べようとする意欲にやや課題がある。</li> <li>・水源確保のための森林の役割や道具の変化から昔の人々の工夫を考え、適切に判断する能力にやや課題がある。</li> <li>・地形図から様々なことを読み取ったり、分かったことを表現する能力に課題がある。</li> <li>・地図記号の理解に課題がある。</li> </ul>                     |
| 算 数  |  |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と計算」は区の平均を3.1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「量と測定」は区の平均を6.4ポイント下回っており、特に課題があると言える。</li> <li>・「図形」は区の平均を2.2ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「数量関係」は区の平均を2.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は区の平均を0.9ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「数学的な考え方」は区の平均を3.0ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「表現・処理」は区の平均を4.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「知識・理解」は区の平均を3.0ポイント下回っており、課題があると言える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・折れ線グラフの特徴について関心を持ったり、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定しようとする意欲にやや課題がある。</li> <li>・面積の求め方や除法について筋道を立てて考える能力に課題がある。</li> <li>・位取り記数法に基づいて数を表したり、除法の筆算の計算処理、角の正確な測定に課題がある。</li> <li>・位取り記数法、小数・分数の計算の意味、三角定規を組み合わせてできる角の大きさの理解に課</li> </ul> |

|   |  | 題がある。  |
|---|--|--|
| 理 科   |  |  |
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生物とその環境」は区の平均を3.2ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「物質とエネルギー」は区の平均を1.0ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「地球と宇宙」は区の平均を5.2ポイント下回っており、特に課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は区の平均を1.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「科学的な思考」は区の平均を1.5ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「技能・表現」は区の平均を0.4ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「知識・理解」は区の平均を0.6ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘチマや星座等身の回りの自然事象に関心を持ち、生活に応用しようとする態度に課題がある。</li> <li>・乾電池のつなぎ方と電流の強さやモーターの回転数を関連づけて考えたり、水について事象の変化から問題を見つけ思考する能力に課題がある。</li> <li>・電池のつなぎ方、光電池のはたらきや水の変化についての理解に課題がある。</li> </ul> |

現6学年 平成18年度 第5学年「児童・生徒の学力向上を図るための調査」（東京都教育委員会）結果の内容別・観点別の分析

北区立滝野川第二小学校

| 国 語   |  |   |
|---|--|---|
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「話すこと・聞くこと」は都の平均を1.4ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「書くこと」は都の平均を2.5ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「読むこと」は都の平均を3.3ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「言語事項」は都の平均を1.6ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を2.4ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「話す・聞く能力」は都の平均を2.1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「書く能力」は都の平均を2.8ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「読む能力」は都の平均を1.7ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「言語事項」は都の平均を1.6ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・考えを広げたり深めたり、情報を集めたりするなど、目的に合わせて読書をしようとする意欲に課題がある。</li> <li>・考えたことや意図が分かるように、話の組み立てを工夫して話す能力に課題がある。</li> <li>・人物の心情や情景について、叙述に即して読み味わったり、表現のよさや効果を感じ取ったりしながら読む能力に課題がある。</li> </ul> |
| 社 会   |  |   |
| 内容別結果の分析  | 観点別結果の分析   | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域学習」は都の平均を4.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「食料生産」は都の平均を2.7ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「工業生産」は都の平均を3.8ポイント下回</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を0.9ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「社会的な思考判断」は都の平均を5.7ポイント下回っており、特に課題があると言える。</li> <li>・「技能・表現」は都の平均を2.9ポイント下回</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域行事に進んで関わったり、水産業の適切な学習方法を選択したりする意欲に課題がある。</li> <li>・人々の生活と道具の変化、自動車生産の特色や開発の意味、貿易の在り方について思考・判断することに課題がある。</li> </ul>   |

|  |   |   |
|--|---|---|
| ており、課題があると言える。   | っており、課題があると言える。<br>・「知識・理解」は都の平均を5.1ポイント下回っており、特に課題があると言える。   | ・昔の道具の使い方、等高線・分布図・統計資料を読む技能に課題がある。<br>・東京都の特色・産業・近隣県、米作りの生産の工夫についての理解に課題がある。  |
| 算 数  |   |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「数と計算」は都の平均を1.7ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「量と測定」は都の平均を7.5ポイント上回っており、大変良好であると言える。</li> <li>・「図形」は都の平均を0.3ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「数量関係」は都の平均を3.6ポイント上回っており、良好である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を3.1ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「数学的な考え方」は都の平均を0.8ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「表現・処理」は都の平均を1.4ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「知識・理解」は都の平均を7.6ポイント上回っており、大変良好であると言える。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的に応じた見積もり方法について判断したり、目的に応じて単位や計器を適切に選んで測定したり、図形の角について更に調べようとしていたりする意欲に課題がある。</li> <li>・四則の混合した式、小数の乗法、小数の除法、分数の減法、概数での見積もりの計算処理に課題がある。</li> </ul>              |
| 理 科  |   |   |
| 内容別結果の分析   | 観点別結果の分析  | 内容・観点のクロス分析   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・「生物とその環境」は都の平均を2.3ポイント上回っており、良好であると言える。</li> <li>・「物質とエネルギー」は都の平均を2.2ポイント下回っており、課題があると言える。</li> <li>・「地球と宇宙」は都の平均を8.1ポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・「関心・意欲・態度」は都の平均を0.5ポイント上回っており、おおむね良好であると言える。</li> <li>・「科学的な思考」は都の平均を5.3ポイント下回っており、特に課題があると言える。</li> <li>・「技能・表現」は都の平均を0.8ポイント下回っており、やや課題があると言える。</li> <li>・「知識・理解」は都の平均をポイント上回っており、良好であると言える。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・てこの力を加える位置やおもりの位置とてこの力の大きさの関係、星座の並び方と動き方の関係、一日の天気の変化と気温の変化の関係について思考することに課題がある。</li> <li>・植物の発芽やてこの働きについて、条件に着目して実験の計画を立てたり、実験の結果を的確に記録したりすることに課題がある。</li> </ul> |

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（国 語）

北区立滝野川第二小学校

| 学年 | 学習状況及び指導方法の課題分析   | 具体的な授業改善案   | 補充・発展指導計画  |
|----|---|---|--|
| 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なことを落とさずに聞いたり、話したり、内容を読みとったりする力は不十分である。</li> <li>・書く文字が雑で、不正確になりがちである。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・上手な聞き方、話し方の指導をする。</li> <li>・叙述に則して正しく読みとれるように、線を引いたり視写したりする活動を取り入れる。</li> <li>・平仮名、カタカナ、漢字の指導の際に、正しい</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝のスピーチを充実させる（日直が輪番で行う。）</li> <li>・日常的に、文章を書くことに慣れさせ、発表にも生かすようにする。（文字指導も含む。）</li> <li>・授業や家庭学習で音読を行い、目と耳で文</li> </ul> |

|    |  |  |   |
|----|--|--|---|
|    |  | 字の形、筆順を意識させ、くり返し指導する。  | 章表現に親しませる。  |
| 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・大事なことを落とさないように聞き取ること、事からの順序を考えながら内容を読みとること、第一学年配当漢字を読み、書くことをさらに確実に定着させる必要がある。</li> <li>・自分の考えが明確になるように、簡単な組み立てを考えることが不十分。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・意識して聞き取るように、更なる「聞き方名人」の定着をはかる。</li> <li>・繰り返し漢字テストを行い、読んだり書いたりできていない漢字についての定着をはかる。</li> <li>・よい表現を音読し、視写する中で、自分の短作文や感想文に生かすことが出来るように指導する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書以外からの教材や開発单元など、楽しんで学ぶことが出来るよう工夫する。</li> <li>・もりもりタイムや家庭学習を充実させ、個に応じた指導を行う。</li> </ul>  |
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の様子について想像を広げながら読書をするのが不十分。</li> <li>・時間的な順序、事柄の順序を考えながら内容を読み取る活動が不十分。</li> <li>・漢字書取の練習が不十分。</li> </ul>                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・朝読書や読書月間（三色読書、ページギネス）を活用したり、読んだ本の発表会をしたりして読む目的を明確にし、読書量を増やして読書力をつけるようにする。</li> <li>・人物の心情や情景を表す叙述やよい表現に線を引いたり視写したり、話し合ったりしながら、心情や情景を読み取らせる。</li> <li>・図書担当と協力しながら計画的に図書の時間を実施するなど図書の時間を充実させる。</li> <li>・授業の中で音読を多く取り入れ、ねらいをもって音読させる。</li> <li>・作文を書く際には順序を表す言葉に注意して書くように指導する。</li> <li>・漢字の書き取りを反復練習し、ミニテストを行うことで定着を図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区立図書館と連携し、目的に合わせた本をまとめて借りたり、ブックトークを実施したりする。また保護者と連携し、読み聞かせを実施したり、家庭における読書習慣をつけるようにしたりする。</li> <li>・家庭の協力を仰ぎ、家庭学習での音読の際には家の人に聞いてもらうように働きかける。継続して練習できるようにカードを工夫する。</li> <li>・漢字テストは合格するまでくり返し行う。</li> </ul> |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手や目的に応じて適切に書いたり、考えが明確になるように、段落相互の関係を考えて書いたりする活動が不十分である。</li> <li>・互いの考えの相違点や共通点を考えながら、進んで話し合う活動が不十分である。</li> </ul>                  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・手紙を書く、経験したことを記録文や新聞などに表したり、読書活動を継続して文章のよいところを見つけたり、表現するために必要な語句を増す。</li> <li>・身近な話題についてスピーチ活動を行い、要点などをメモにとりながら聞くことで一人一人感じ方について違いのあることに気</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現したり理解したりするために必要な文字や語句について辞書を活用する習慣をつける。</li> <li>・朝のスピーチタイムを充実させ、構成メモを活用したスピーチを輪番で全員が行う。</li> </ul>   |

|    |   |  |  |
|----|---|--|--|
|    |   | づかせる。  |  |
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉や文章に関心を持ち進んで調べたり、読書を通して考えを深めようとするのが不十分。</li> <li>話し手の意図を考えながら正しく聞き取り、自分の考えや意図が伝わるように話す活動が不十分。</li> <li>表現したいことを筋道を立てて文章に表すことが不十分。</li> <li>言語の基礎を理解し、漢字やローマ字を正確に読み書きすることが不十分。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>言葉や文章に注目して調べる時間をとったり、新聞記事を利用した学習などを取り入れる。朝読書や読書月間を活用し、お薦めの本を発表し合うなど読書のジャンルを広げながら読書力を付けるようにする。</li> <li>折に触れ、話の要旨をまとめたり、スピーチ活動では正しい文章構成で原稿を作り、それをしっかり話すことに重点を置く。</li> <li>筋道の整った文章を視写したり、構成メモを作って文章を表現するようにする。</li> <li>日々の授業の中で言語理解のための時間を設けると共に漢字学習を工夫して行う（新出漢字は毎日少しずつ。週1回のテストの出題も少なく。出来るまで何度も、など）。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>区立図書館との提携により、目的に合わせた本をまとめて借りたり、ブックトークを実施して興味を持たせると共に、読書ジャンルを広げるようにする。</li> <li>朝のスピーチタイムを充実させ、様々なテーマで全員が輪番で行い、質問や感想タイムも充実させる。</li> <li>日常的に文章表現ができるように、日記や詩の指導を行う。</li> <li>授業や家庭学習で教科書や詩の音読を行い、目と耳で文章表現に親しむようにさせる。</li> <li>毎日、漢字や言葉の学習が出来るよう家庭学習の仕方を工夫させる。</li> </ul> |
| 6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>考えを広げたり深めたり、情報を集めたりするなど、目的に合わせて主体的に読書することが不十分。</li> <li>考えたことや意図が分かるように、話の組み立てを工夫して話す活動が不十分。</li> <li>人物の心情や情景について、叙述に即して読み味わったり、表現のよさや効果を感じ取ったりしながら読む活動が不十分。</li> </ul>                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>朝読書や読書月間（三色読書・ページギネス）を活用したり、読んだ本の発表会をしたりして読む目的を明確にし、読書量を増やして読書力を付けるようにする。</li> <li>スピーチ活動の際、原稿は使用せずに構成メモを活用し、話の組み立てを工夫しながら、ある程度長く話せるようにする。</li> <li>人物の心情や情景を表す叙述やよい表現に線を引いたり視写したり、話し合ったりしながら、心情や情景、効果を読み取らせる。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>区立図書館と連携し、目的に合わせた本をまとめて借りたり、ブックトークを実施したりする。また、保護者と連携し、読み聞かせを実施したり、家庭における読書習慣を付けるようにしたりする。</li> <li>朝のスピーチタイムを充実させ、構成メモを活用したスピーチを輪番で全員が行う。</li> <li>授業や家庭学習で教科書の音読を行い、目と耳で文章表現に親しむようにさせる。</li> </ul>   |

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（算 数）

北区立滝野川第二小学校

| 学年 | 学習状況及び指導方法の課題分析  | 具体的な授業改善案  | 補充・発展指導計画  |
|----|--|--|--|
| 1年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>10より大きい数の数え方、20までの数の合成分解の理解が不十分である。</li> <li>計算はできるが、ミスが目立つ。</li> <li>問題文を読まずにやってしまう傾向がある。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>具体物や半具体物を活用し、操作活動を通して数を理解させる。</li> <li>ドリルやプリントで繰り返し、計算練習を行う。</li> <li>大切な言葉にラインを引いて意識させる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>毎日学習プリントを用意して定着を図る。</li> <li>もりもりタイムや家庭学習を充実させ、個に応じた指導を行う。</li> </ul> |

|    |   |   |   |
|----|---|---|---|
| 2年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>全体指導と共に個別指導も取り入れ、教え合う場も設定したが、さらにどの子も分かる工夫が必要である。</li> <li>文章問題の意味や意図と共に、四則計算の内、足し算・引き算・かけ算の概念を理解させる指導が必要である。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>既習事項を復習し、反復練習の機会を学習の中に位置づける。</li> <li>基礎的な学習と共に、文章問題も多く取り入れ、問題の意図を図・絵・操作などを通して理解させ、説明させることを繰り返し行う。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>理解の早い児童、また遅い児童に合わせた補充・発展的問題を用意する。</li> <li>毎日、家庭学習用の復習プリントを用意し、理解の徹底を図る。</li> <li>理解の遅い児童に寄りそい、理解できるまで個別指導を繰り返す。</li> </ul>  |
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>繰り上がりのある加法、繰り下がりのある減法の計算を反復練習する活動が不十分。</li> <li>かさや長さなどの量の大きさを実感する活動が不十分。</li> <li>三角形や四角形の特徴を理解するような活動が不十分。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の授業のリズムを構築し、児童が主体的に学習できるようにする。</li> <li>課題に対し、既習事項や経験から試行錯誤しながら自分なりの考えをもてるような時間を確保する。</li> <li>一人ひとりの考えを発表し合う時間を確保し、多様な考えを受け入れ、その中から最適な方法を選択できるようにする。</li> <li>具体的な操作活動を多く取り入れる。</li> <li>既習の計算を反復練習する時間を確保する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導、均等分割少人数指導、単純3分割少人数指導、学級単位でのTT指導等を使い分け、個に応じた指導をさらに充実させる。</li> <li>授業や家庭学習において、ドリルを活用した計算反復練習を行い、その定着を図る。</li> <li>放課後の時間を活用し、学年で協力して個別指導に力を入れる。</li> </ul> |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>加法や減法、繰り上がり3回の乗法の筆算、加法と減法を含む式などの計算を反復練習する活動が不十分である。</li> <li>図形を構成する要素についての理解を深めるための活動が不十分である。</li> <li>かさの単位を理解し、身近にある容器の容量を推察して適切な単位を使えるようにする活動が不十分である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>既習の計算を反復練習する時間を確保する。</li> <li>ものの形についての観察や構成などの活動を通して、基本的な図形について理解できるようにする。</li> <li>身近な容器を用いて実際のかさを体感させる。グループで課題に取り組み、多様な考え方で試行錯誤する活動を通して正しく理解できるようにする。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>授業や家庭学習において、ドリルを活用した計算反復学習を行い、その定着を図る。</li> <li>指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導、均等分割少人数指導、学級単位でのTT指導等を使い分け、個に応じた指導を更に充実させる。</li> </ul>  |
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が主体的に学習し、既習事項や経験から自分なりの考えを持ったり、友だちの多様な考えを理解する中で、最適な方法を選択したりするような活動が不十分である。</li> <li>位取り記数法に基づく数の表し方、少数・分数の計算、叙法の筆算、角の計測を反復練習する活動が不十分である。</li> </ul>                | <ul style="list-style-type: none"> <li>課題に対し、既習事項や経験から自分なりの考えがもてるような時間を確保すると共に、一人一人の考えを発表し合う時間も確保し、多様な考えを受け入れ、その中から最適な方法を選択できるようにする。</li> <li>既習の計算を反復練習する時間を十分に確保する。</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導・均等分割少人数指導・学級単位TT指導法を使い分け、より中身の濃い指導を充実させる。</li> <li>毎日家庭学習用のプリントを用意し、つまずきがあればすぐに対応できるようにすると共に、指導の定着を図る。</li> </ul>   |
| 6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>児童が主体的に学習し、既習事項や経験から試行錯誤しながら自分なりの考えをもつ</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>1時間の授業のリズムを構築し、児童が主体的に学習できるようにする。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>指導形態を工夫し、単元の内容によって、習熟度別少人数指導、均等分割少人数指導、</li> </ul>   |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  | <p>たり、友達の多様な考えを受け入れたりする中で、最適な方法を選択するような活動が不十分である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・四則の混合した式、小数の乗法・除法、分数の加法・減法、概数での見積もりなどの計算を反復練習する活動が不十分である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に対し、既習事項や経験から試行錯誤しながら自分なりの考えがもてるような時間を確保する。</li> <li>・一人ひとりの考えを発表し合う時間を確保し、多様な考えを受け入れ、その中から最適な方法を選択できるようにする。</li> <li>・既習の計算を反復練習する時間を確保する。</li> </ul> | <p>学級単位での TT 指導等を使い分け、個に応じた指導を更に充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業や家庭学習において、ドリルを活用した計算反復学習を行い、その定着を図る。</li> </ul> |
|--|--|--|--|

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（社 会）

北区立滝野川第二小学校

| 学年 | 学習状況及び指導方法の課題分析   | 具体的な授業改善案   | 補充・発展指導計画   |
|----|---|---|---|
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちの住んでいるまちや北区の様子について、資料から具体的な事実を読み取るような活動が不十分。</li> <li>・資料からわかったことを実際に自分で体験する活動が不十分。</li> <li>・体験したことや資料から読み取ったことが知識として定着していない。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの興味を生かした学習課題を設定する。</li> <li>・資料の読み取りだけでなく、具体的な体験活動を授業に多く取り入れる。</li> <li>・商店街、工場の見学、昔の道具を使う体験活動などを行う。</li> </ul>                        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集めに際しては、図書館司書教諭、区立図書館と連携して、テーマにそった本を集める。</li> <li>・飛鳥山博物館を活用して体験活動ができるようにする。</li> <li>・地域へ出る際には保護者の協力を仰ぐ。</li> <li>・知識を定着させるために、まとめのプリント学習を行う。</li> </ul> |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地図や各種の資料を効果的に活用し、調べたことを表現する活動が不十分である。</li> <li>・地域における災害や事故から人々の安全を守る工夫についての理解が不十分である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・区の様子について資料を活用したり、白地図にまとめたりして調べ、特色を考えられるようにする。学習形態として小グループでの調べ学習を取り入れる。調べたことを発表し合い、理解を深められるようにする。</li> <li>・地域の消防施設などを実際に見学、体験する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集めに際しては、図書館司書教諭、区立図書館と連携してテーマに沿った本を集めたり、パソコンルームを効果的に活用したりすることにより、一人一人の学習意欲や資料活用能力を高める。</li> <li>・知識を定着させるために、まとめのプリント学習を行う。</li> </ul>                    |
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・知識の理解と共に、資料から具体的な事実を読み取り、そこから自分の考えを持ち、根拠を明らかにしながら、適切に判断するような活動が不十分である。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習課題を明確にし、資料や調べた事柄、体験や見学から自分の考えを深め、学級やグループで話し合い、分かったことや考えたことを新聞などにまとめて発表するような活動を意図的・計画的に設定する。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書や資料集だけではなく、図書館やパソコンルーム、新聞記事や取材などを効果的に活用することにより、一人一人の学習意欲や資料活用能力を高める。</li> <li>・知識を定着させるために、まとめのプリント学習をする。</li> </ul>                                     |
| 6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・主体的に学習方法を選択し、資料から具体</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの興味関心を生かした学習課題</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料集めに際しては、図書館司書教諭、区</li> </ul>  |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  | <p>的な事実を読み取り、そこから自分の考えをもち、根拠を明らかにしながら適切に判断するような活動が不十分である。</p> | <p>を設定し、グループ学習を行う。そして、友達と協力して資料を集め、調べた事実を基にして話し合い、自分の考えを深める。そして、事実や考えをポスターや新聞にまとめて発表するような活動を意図的・計画的に設定する。</p> | <p>立図書館と連携してテーマに沿った本を集めたり、パソコンルームを効果的に活用したりすることにより、一人一人の学習意欲や資料活用能力を高める。<br/>         ・知識を定着させるために、まとめのプリント学習を行う。</p> |
|--|---|---|---|

指導方法の課題分析と具体的な授業改善案（理 科）

北区立滝野川第二小学校

| 学年 | 学習状況及び指導方法の課題分析  | 具体的な授業改善案   | 補充・発展指導計画   |
|----|--|---|---|
| 3年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・興味・関心から実験したり、観察したりしたことが、知識・理解へと結びつくような活動が不十分。</li> </ul>                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・観察においては、観察のポイントを細かく指示し、気付いたこととわかったことを区別して書くカードを活用する。</li> <li>・実験においては、目的、手順、用具、予想、結果、結果からわかることを記入するようにする。一人ひとりの考えを基にグループや学級全体での話し合い活動を重視する。</li> </ul>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・発展学習として、昆虫や植物など主体的に世話をする環境を整える。</li> <li>・知識を定着させるために、まとめのプリント学習を行う。</li> </ul>                                       |
| 4年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物や昆虫の育ち方、特徴などをとらえさせる活動が不十分である。</li> <li>・観察や実験の具体的な方法や技能の会得が不十分である。</li> </ul>              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・植物や昆虫の観察では野外に出かけ、地域の自然に親しむ活動を取り入れる。</li> <li>・身近な昆虫や植物を探したり育てたりして成長の過程や体のつくりを調べ、共通点や相違点について考えられるようにする。</li> <li>・実験や観察の基本的な方法や注意点を明確に示し、安全に行えるようにする。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の興味関心が高まるよう、単元によっては理科支援員との連携により、実験・観察の充実を図る。</li> <li>・小グループでの問題解決活動を進め、どの子どもも主体的に実験・観察・飼育・栽培にかかわるようにする。</li> </ul> |
| 5年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察において目的を明確にし、既習内容や経験から根拠を明らかにして予想を立てたり、結果を正しく記録したり、そこから児童自らが結論を導き出す活動が不十分である。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察においては、学習カードを活用し、一人一人の考えを元に、グループや学級全体で話し合いながら予想を立てたり、正確に実験・観察した結果を正しく記録したり、結果から結論を導き出したりする活動を意図的・計画的に設定する。</li> </ul>                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科支援員の専門性を生かした助言を受けながら、児童の興味・関心を引き出す授業作りを行う。</li> <li>・知識を定着させるためにまとめのプリント学習を行う。</li> </ul>                           |
| 6年 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察において、目的を明確にし、既</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・実験や観察においては、目的、手順、用具、</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理科支援員とのT T指導を行い、実験や観</li> </ul>   |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  | <p>習内容や経験から根拠を明らかにして予想を立てたり、結果を的確に記録したり、結果からどんな結論が導き出せるのかを児童自らが考察したりする活動が不十分である。</p> | <p>予想、結果、結論、感想を記入する学習カードを活用する。そして、一人ひとりの考えを基にグループや学級全体で話し合いながら予想を立てたり、正確に実験・観察した結果を的確に記録したり、結果を基に結論を導き出したりする活動を意図的・計画的に設定する。</p> | <p>察における個別支援を充実させる。また、理科支援員より専門性を生かしたトピック的な話をさせ、質疑応答をすることにより児童の興味関心を引き出し、学習意欲を高める。</p> |
|--|--|--|--|